

かながわスマート農業・水産業推進プログラムの見直しについて

1 概要

- ・本県では、令和 4（2022）年 3 月に、「かながわスマート農業・水産業推進プログラム」（以下、「プログラム」という。）を策定した。
- ・プログラムでは、スマート技術は日進月歩で技術開発が進むため、継続的に情報を収集し、必要に応じてロードマップを再検討することとしている。
- ・令和 7（2025）年 3 月にプログラムの見直しを行った。

2 見直し内容

- ・「6 技術分野別の推進方針と今後 5 年間のロードマップ」について、令和 4～6（2022～2024）年度の実績を記載するとともに、令和 7～8（2025～2026）年度は実績等を踏まえて見直しを行った。
- ・新たな技術として、3 技術（自動操舵システム、遠隔モニタリング装置付乾燥機、遠隔営農支援システム）を追加した。

（新たな技術の追加理由）

追加する技術	理由
自動操舵システム	既存の田植え機・トラクター等に導入でき、直進アシスト型機械等の新規購入に比べて比較的安価で自動走行が可能となるため。
遠隔モニタリング装置付乾燥機	建設に莫大な費用がかかるライスセンターを整備できない中小規模の産地でも比較的安価で導入することができ、作業の効率化が図られるため。
遠隔営農支援システム	対面でなくてもリアルタイムで遠隔指導でき、効率的な技術指導を行うことができるため。

- ・「7 推進体制」について、現状を踏まえて文言の修正を行った。